

川口市(埼玉県)の一体的実施 平成23年12月1日事業開始

市役所庁舎内に「就労支援コーナー」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者に対する一体的支援等を実施



市

各種相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護の申請者・受給者、住宅手当受給者、ひとり親家庭の父・母等の生活困窮者に対する支援
- ・求人開拓の実施
- ・セミナーの開催

② 協定・事業計画

- ・川口市長と埼玉労働局長の間で協定を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を川口市と埼玉労働局の間で策定

③ 運営協議会

- ・川口市職員、埼玉労働局職員、労使団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置(川口市長が会長)

市役所の生活福祉課窓口の隣に「就労支援コーナー」を設置。市と国の職員が連携しつつ、市役所に訪れる市民に対する福祉から就労までの支援をワンストップで実現

(1) 実施体制

市

- ・ 就労支援員2名を配置

国

- ・ 就職支援ナビゲーター1名・職業相談員1名を配置
- ・ 求人情報提供端末3台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	24年度事業目標	取組状況(24年9月末時点)
生活困窮者 に対する就職支援	◇80人以上の就職 (うち55人以上が紹介就職)	◇就職者数 (そのうち紹介就職によるもの) 118人(109人) ◇参考 「就労支援コーナー」での相談・紹介等の状況 相談:1,572件、紹介:879件
	(参考)23年度目標(23年12月～24年3月) ◇12人以上の就職 (うち8人以上が紹介就職)	(参考)23年度実績(23年12月～24年3月) ◇26人の就職(うち25人が紹介就職) ◇「就労支援コーナー」での相談・紹介等の状況 相談:計668件、紹介:計400件
	◇求人開拓及びセミナー (2回)を実施	今後、開催予定
	(参考)23年度目標(23年12月～24年3月) ◇求人開拓及びセミナー(1回)を実施	(参考)23年度実績(23年12月～24年3月) ◇就職支援セミナーを2/29に開催(31人出席)

一体的実施事業における就職成功事例

男性：52歳 ・希望職種：倉庫ピッキング ・直近の雇用形態 パート労働者（雇用期間1年）
→ 生活保護受給者で「就労支援コーナー」を訪れ、支援を開始

① 抱える課題

- ・腰痛により倉庫会社を辞め、収入が無くなり家賃を滞納し、アパートを追われ路上生活を始めた。川口にある寮に入寮し生活保護受給となった。
連絡先が寮の電話であることなど本人とスムーズな連絡が取れないことで不採用となっていた。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・本人は就労意欲があり、生活保護から自立したい気持ちが強くあったため、市のケースワーカーが就労支援コーナーに誘導。
- ・ハローワークの就労支援コーナー相談員が就労支援を実施。携帯電話の購入を勧め、いつでも連絡が取れるようにし、面接時の服装、対応策等を指導。また、職業紹介に際しては利用者の雰囲気から警備員を推奨。

③ 結果

- ・東京都の交通警備・雑踏警備等（CM撮影、イベント会場などのお客様の安全確保）請負業の会社でパート採用
支援期間：2ヶ月半

○ ハローワークの担当者の所感

- ・このケースは、路上生活をして生活保護受給者となる経緯からして就職が難しい例であったが、担当ケースワーカーが早期就労をさせるために指導したことで、相談員が十分に傾聴して職種を決定したことにより、早期就職に繋がった。